



2012年3月期第2四半期 決算説明

2011年11月7日



＜本日の内容＞

1. 2012年3月期(2011年度)第2四半期決算概要
2. 2012年3月期(2011年度)業績見通し
3. 事業戦略
4. トピックス



1. 2012年3月期(2011年度) 第2四半期決算概要



2011年度第2四半期 決算のポイント

■ 期初業績予想との差異について

・第2四半期累計営業利益 期初見通し比 約9億円減少

⇒第1四半期はほぼ予想通りに推移

⇒第2四半期は急速に状況が変化

米欧の財政問題に起因した世界的な経済停滞

円高の進行による厳しい受注環境

夏期電力使用制限に備えた第1四半期の前倒需要の反動

・第2四半期累計当期利益 期初見通し比 約12億円減少

⇒営業利益の減少に加え、有価証券の評価損計上(約2億円)

■ 前年同期比との差異について

・売上高約52億円減少、営業利益約20億円減少

⇒事業環境に恵まれた前年同期に比べ、当期は第2四半期の急速な状況変化により減収・減益

■ 中間配当

・3円実施(予定通り)



2011年度第2四半期業績

<連結>

(単位:億円)

	10年度2Q累計 (A)	11年度期初 2Q累計見通し (B)	11年度2Q累計 (C)	増減 (C) - (B)	増減 (C) - (A)
売上高	1,060	1,017	1,008	▲9	▲52
営業利益	71	60	51	▲9	▲20
経常利益	68	57	48	▲9	▲19
当期純利益	54	40	28	▲12	▲27

<個別> (ご参考)

(単位:億円)

	10年度2Q累計 (A)	11年度期初 2Q累計見通し(B)	11年度2Q累計 (C)	増減 (C) - (B)	増減 (C) - (A)
売上高 (数量)	931 (222千トン)	893 (209千トン)	874 (203千トン)	▲19 (▲6千トン)	▲57 (▲19千トン)
営業利益	61	51	39	▲12	▲22
経常利益	56	48	37	▲11	▲19
当期純利益	47	33	22	▲11	▲25



連結営業利益分析

(11年度2Q累計期初見通し→11年度2Q累計実績)

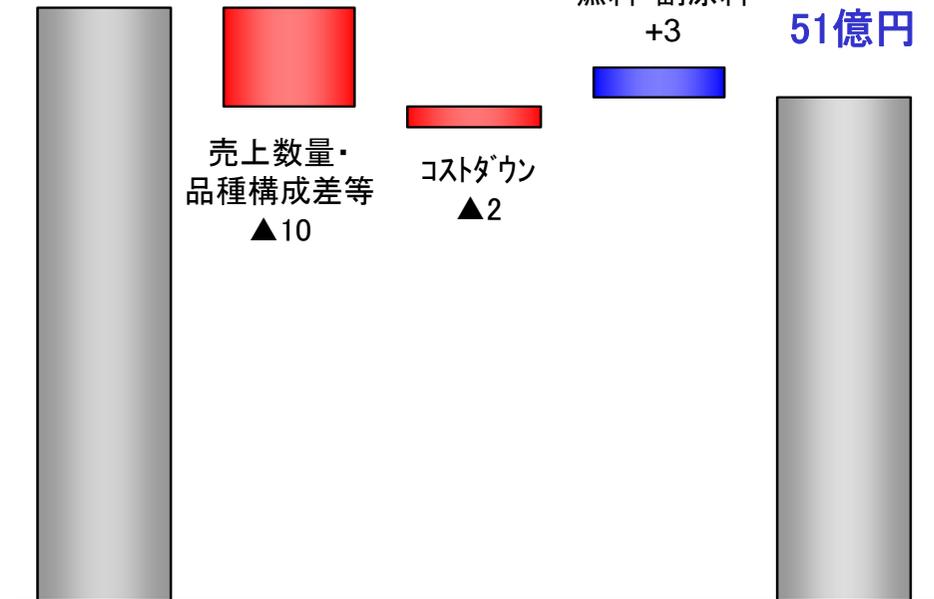
2011年度2Q累計期初見通し→2011年度2Q累計実績 増減内訳 (▲9億円)

<品種別数量>

(千t)

品 種		(a) 11年度上 期初見通し	(b) 11年度上 実績	(b)-(a) 増減	
板類	缶 材	65	69	4	
	箔 地	18	19	1	
	一般内需	57	55	▲2	
	厚板	LNG	1	1	0
		その他	15	13	▲2
	輸 出	35	29	▲6	
計		191	185	▲6	
押 出 計		18	18	0	
鑄 鍛 計		1	1	0	
総 合 計		209	203	▲6	

11年度2Q累計
期初見通し
60億円





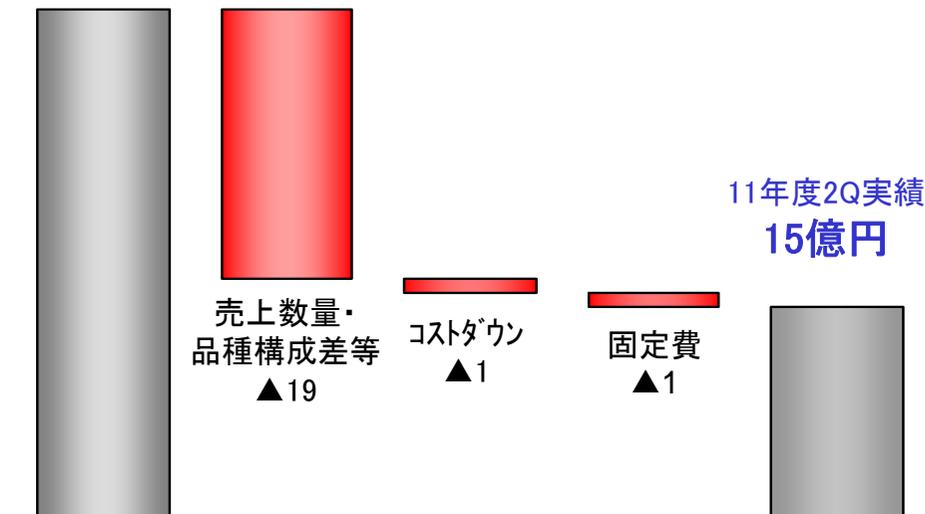
連結営業利益分析 (11年度1Q実績→11年度2Q実績)

2011年度1Q実績→2011年度2Q実績 増減内訳 (▲21億円)

<品種別数量> (千t)

品 種		(c) 11年度1Q 実績	(d) 11年度2Q 実績	(d)-(c) 増減	
板類	缶 材	37	32	▲5	
	箔 地	9	10	1	
	一般内需	29	26	▲3	
	厚板	LNG	0	1	1
		その他	8	5	▲3
	輸 出	13	16	3	
計		97	88	▲9	
押 出 計		9	9	0	
鑄 鍛 計		1	1	0	
総 合 計		106	97	▲9	

11年度期1Q実績
36億円





連結営業利益分析 (10年度2Q累計→11年度2Q累計)

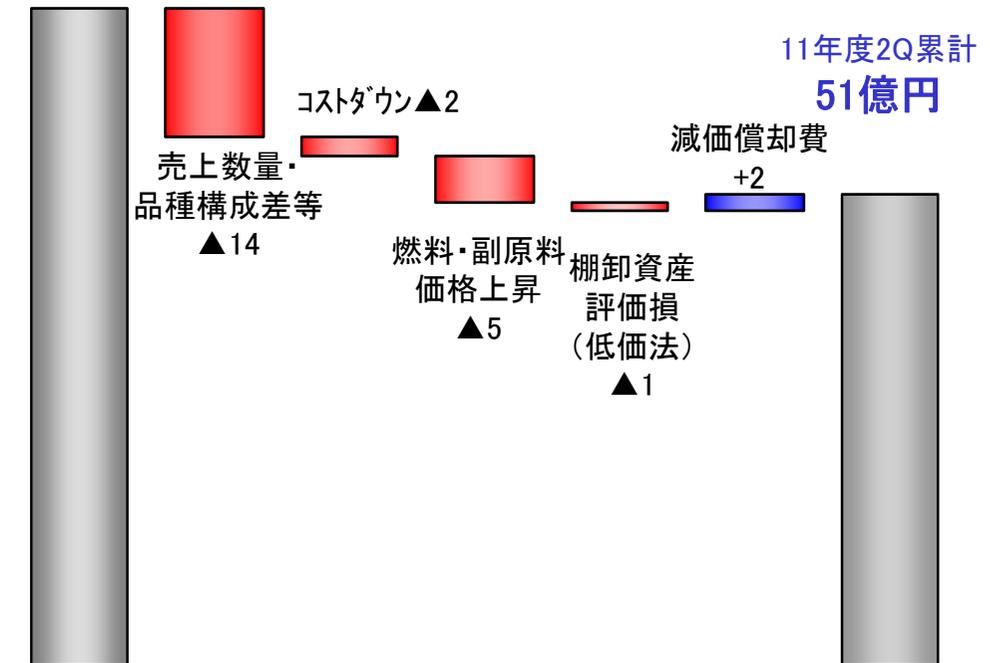
10年度2Q累計→11年度2Q累計 連結営業利益 増減内訳 (▲20億円)

<品種別数量>

(千t)

品種		(e) 10年度 累計実績	(f) 11年度 累計実績	(f)-(e) 増減	
板類	缶材	68	69	1	
	箔地	19	19	0	
	一般内需	63	55	▲8	
	厚板	LNG	0	1	1
		その他	13	13	0
	輸出	39	29	▲10	
計		203	185	▲18	
押出計		19	18	▲1	
鑄鍛計		1	1	0	
総合計		222	203	▲19	

10年度2Q累計
71億円





連結貸借対照表

(単位:億円)

	11/3末	11/9末	増減
流動資産	1,128	1,066	▲61
現金・預金	47	41	▲6
受取手形・ 売掛金	582	584	2
棚卸資産	252	277	24
*1 その他	247	164	▲82
固定資産	1,051	1,111	61
有形・無形固定資産	913	880	▲33
投資その他の資産	138	232	95
資産合計	2,179	2,178	▲1

	11/3末	11/9末	増減
流動負債	882	883	1
*2 支払手形・ 買掛金・ 未払金・未払費用	550	557	7
短期借入金・一年以 内返済長期借入金・ 社債	309	296	▲13
その他	23	31	8
固定負債	598	588	▲10
長期借入金・社債	460	458	▲2
その他	138	130	▲8
自己資本合計	694	701	8
少数株主持分	5	6	0
負債・総資本合計	2,179	2,178	▲1

*1 現先等での運用資産前期176億円、
当期100億円含む

*2 電子記録債務を含む



連結経営指標

	11/3末	11/9末	増減
自己資本（億円）	694	701	8
自己資本比率（%）	31.8%	32.2%	0.4
有利子負債（億円）	769	754	▲15
NET有利子負債（億円）	545	613	67
D/ELシオ（倍）	1.1	1.1	0.0
NET D/ELシオ（倍）	0.8	0.9	0.1
ROE（%）	18.6%	注) (5.8%)	▲12.8

注) 11/9末段階のROEは年度末の予想をベースに作成したROE

ROEの目標 ⇒ 健全な財務体質を維持しつつ、平準的に10%を上回ること



2. 2012年3月期(2011年度) 業績見通し



2011年度 業績見通しのポイント

第2四半期以降、米欧の財政問題が顕在化し、世界的に景気が悪化するとともに円高の定着などにより改善が見通せない状況。更に、タイの洪水の影響で経済および事業環境の不透明感が増幅。現時点では、下期の景気回復可能性は低いと想定。

⇒通期の売上高、営業利益を下方修正



2011年度連結業績見通し

(単位:億円)

	11年度期初見通し (A)		11年度見通し (B)			増減 (B) - (A)	
	上期	下期	上期	下期			
売上高	2,039	1,017	1,022	1,943	1,008	935	▲96
営業利益	105	60	45	64	51	13	▲41
経常利益	103	57	46	62	48	14	▲41
当期純利益	69	40	29	40	28	12	▲29

諸元(下期) ; 原油(ドバイ) 104US\$/B, アルミ地金 225円/kg, 為替 77円/US\$

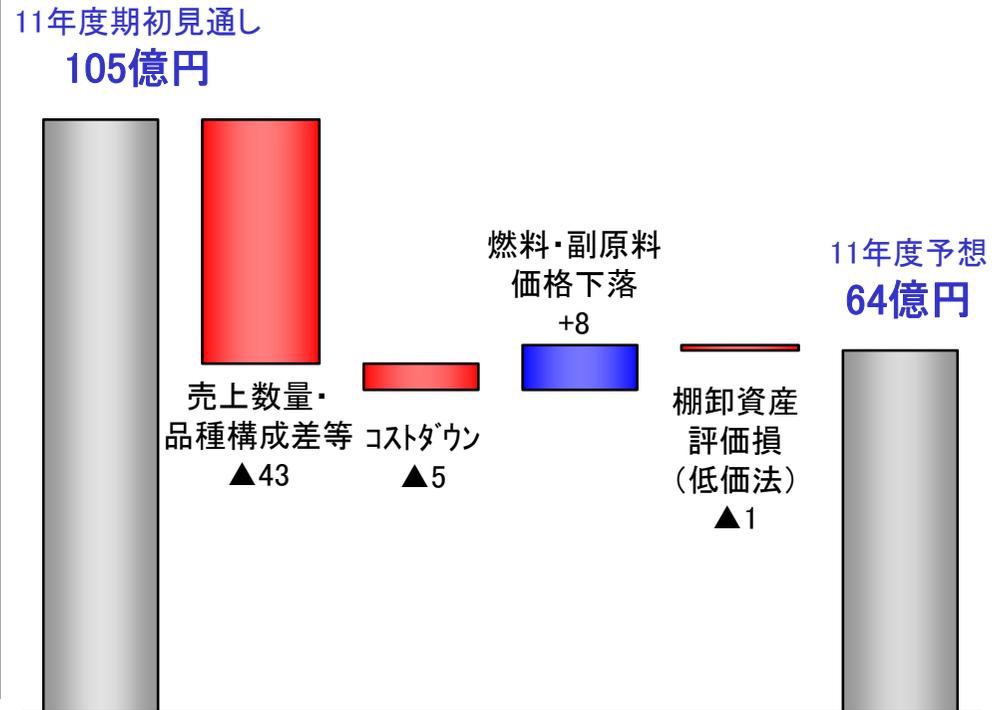


連結営業利益分析 (11年度期初通し→11年度見通し)

2011年度期初見通し→2011年度連結営業利益予想 増減内訳 (▲41億円)

<品種別数量> (千t)

品 種		(g) 11年度通期 期初見通し	(h) 11年度通 期見通し	(h)-(g) 増減	
板類	缶 材	119	124	5	
	箔 地	37	38	1	
	一般内需	110	108	▲2	
	厚板	LNG	11	6	▲5
		その他	28	23	▲5
	輸 出	78	60	▲18	
計		381	359	▲22	
押 出 計		35	35	0	
鑄 鍛 計		2	2	0	
総 合 計		417	396	▲21	





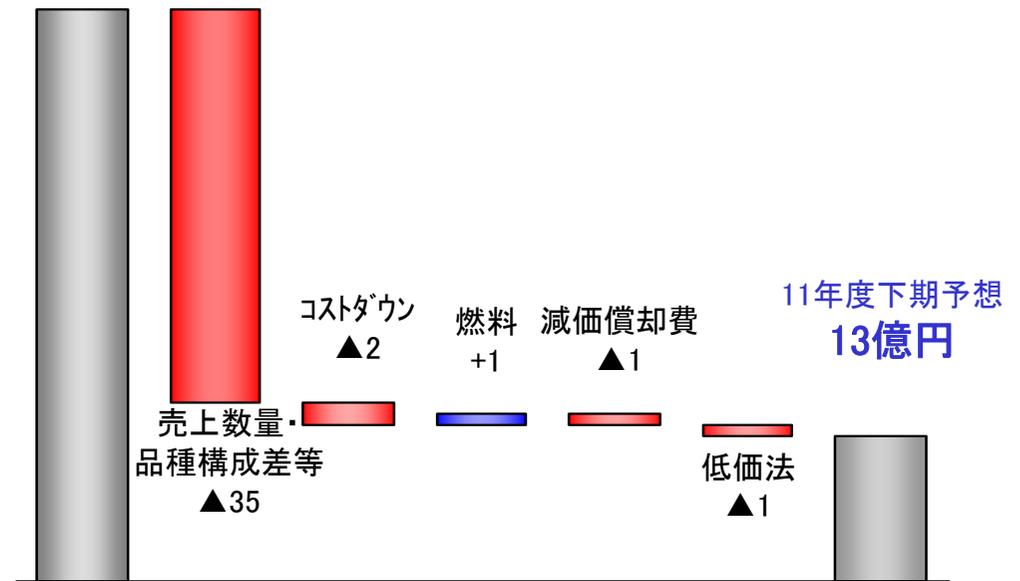
連結営業利益分析 (11年度上期実績→11年度下期予想)

2011年度上期実績→2011年度下期予想 増減内訳 (▲38億円)

<品種別数量> (千t)

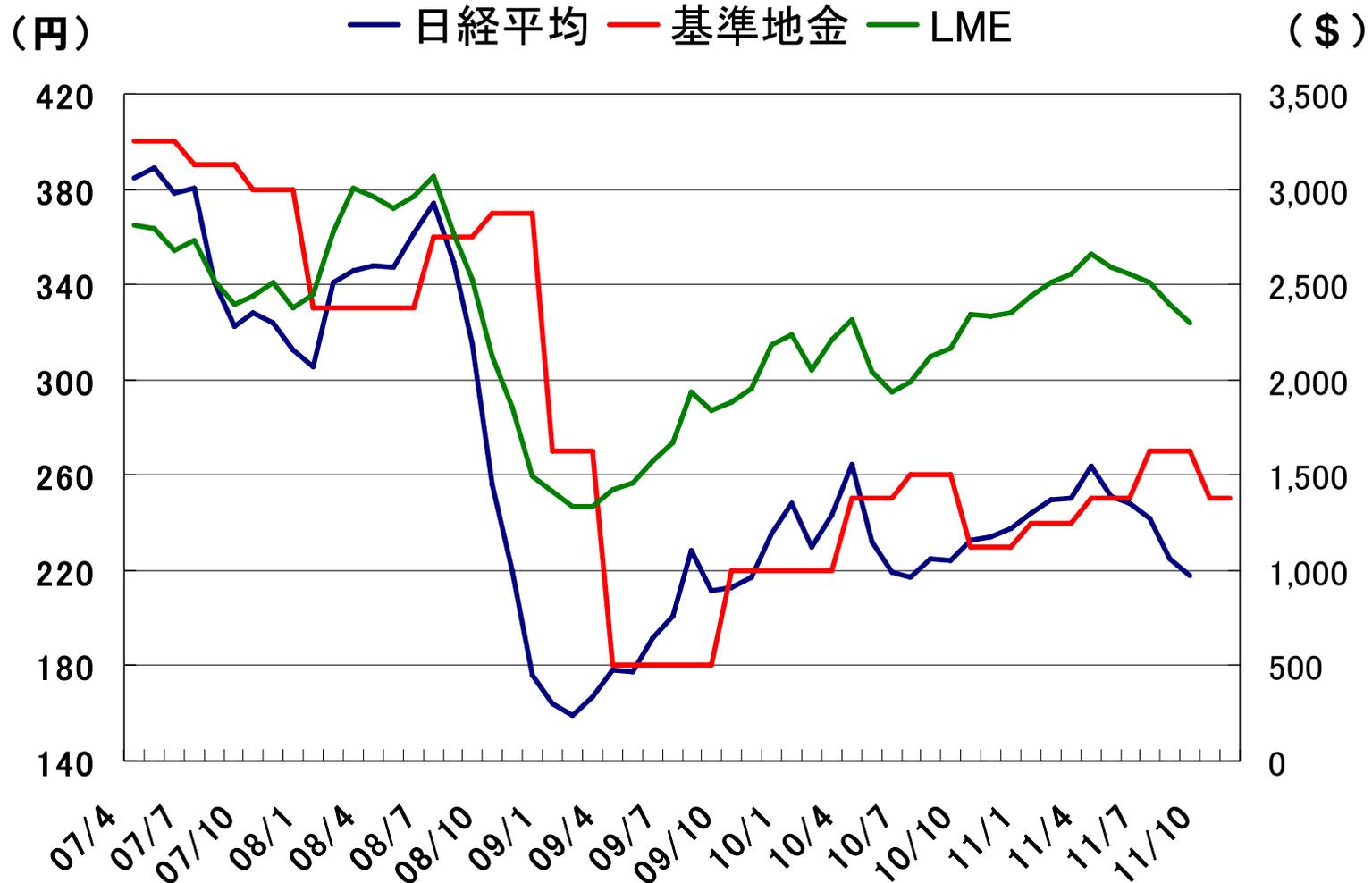
品 種		(i) 11年度上 実績	(j) 11年度下 予想	(j)-(i) 増減	
板 類	缶 材	69	55	▲14	
	箔 地	19	19	0	
	一般内需	55	53	▲2	
	厚 板	LNG	1	5	4
		その他	13	10	▲3
	輸 出	29	31	2	
計		185	174	▲11	
押 出 計		18	17	▲1	
鑄 鍛 計		1	1	0	
総 合 計		203	193	▲10	

11年度上期実績
51億円



参考資料

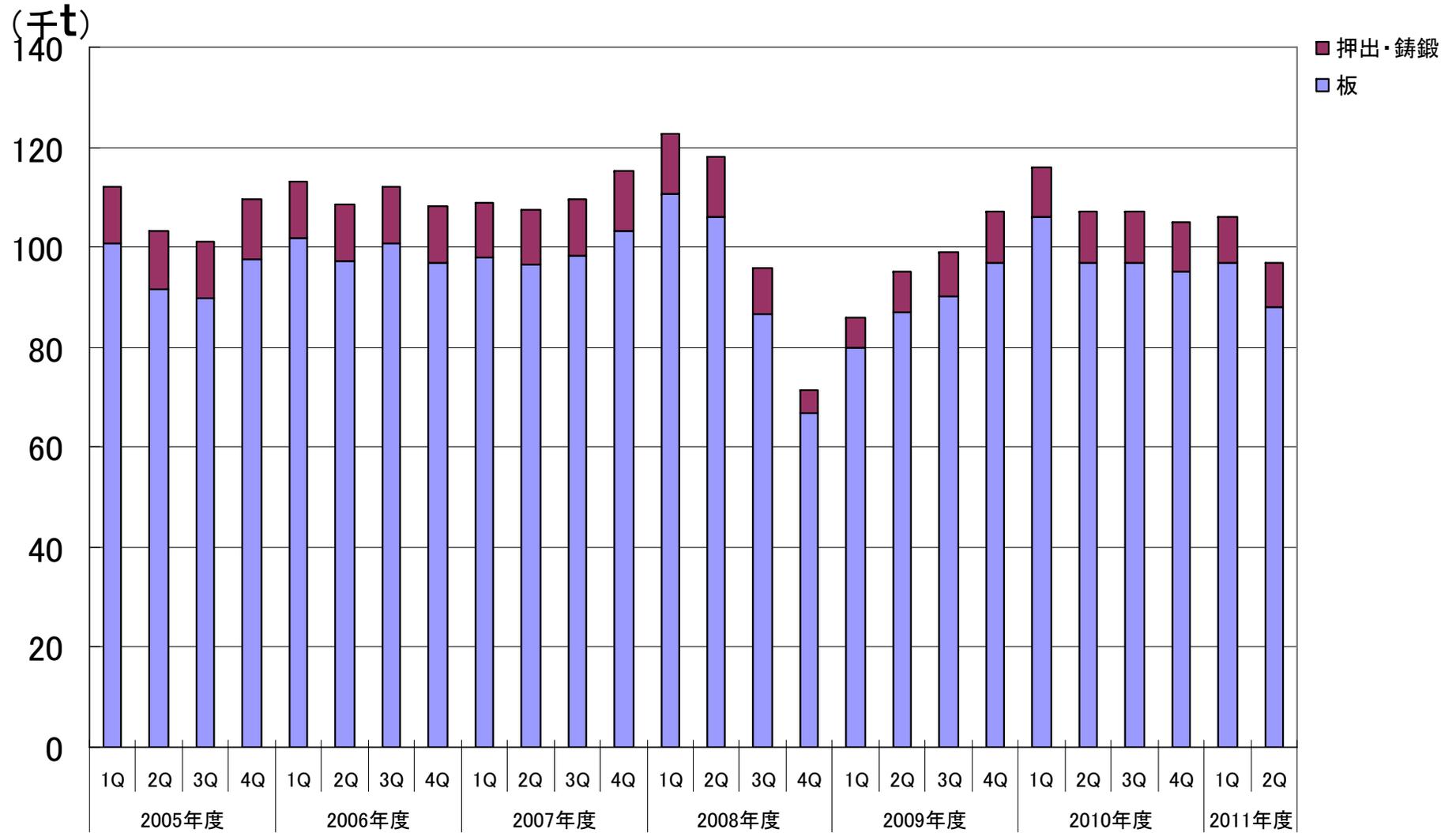
アルミ地金日経平均、基準地金、LME推移





参考資料

数量推移 (2005年度～2011年度)

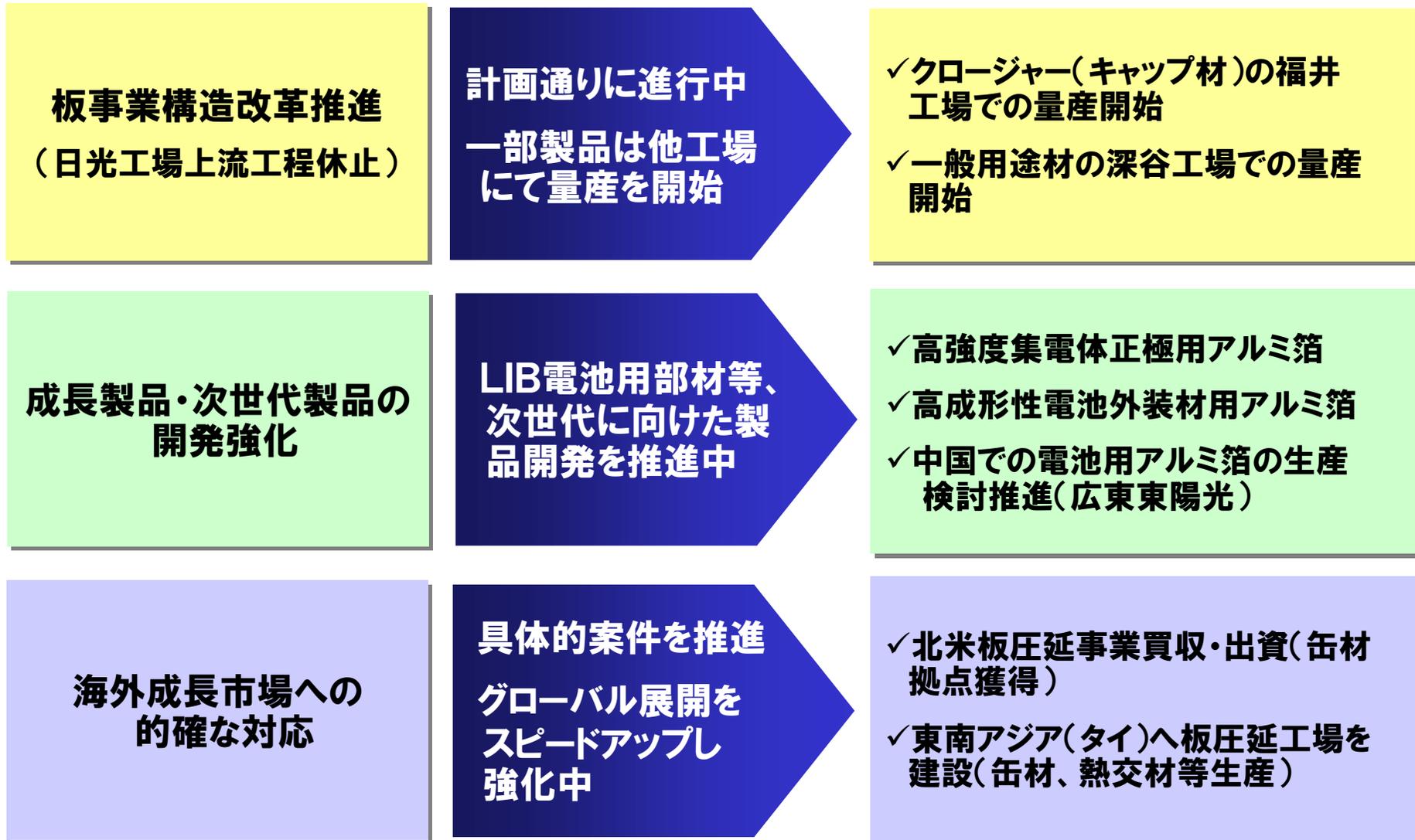




3. 事業戦略

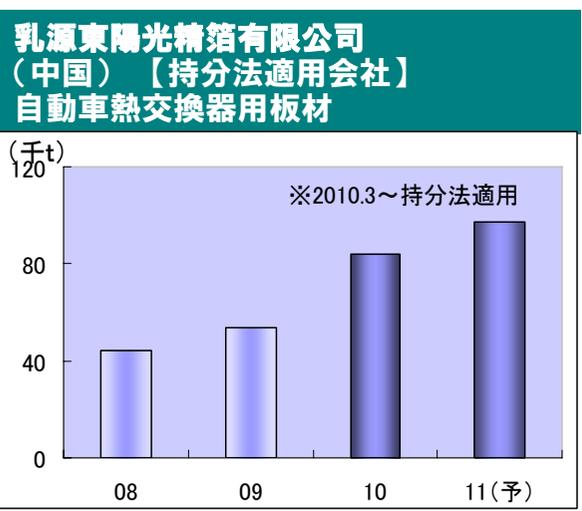
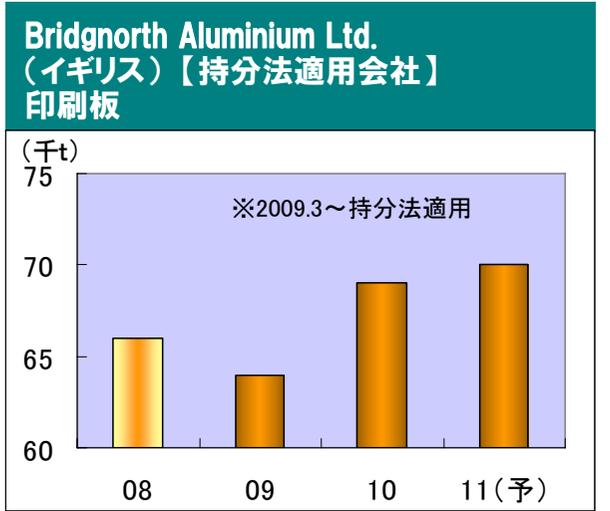
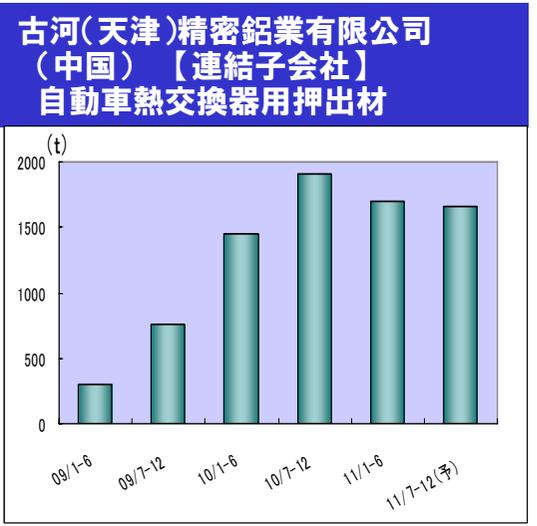
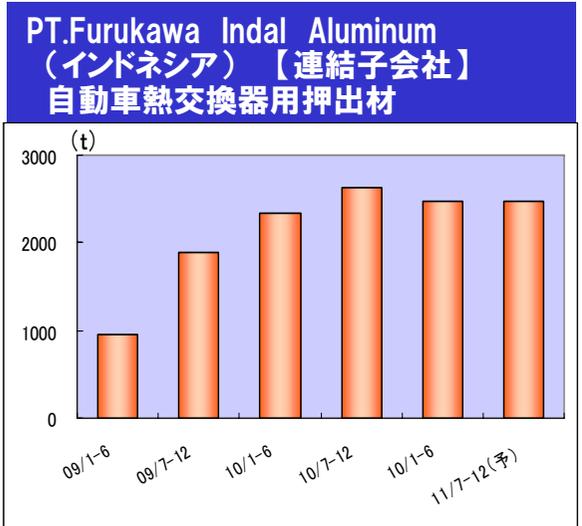
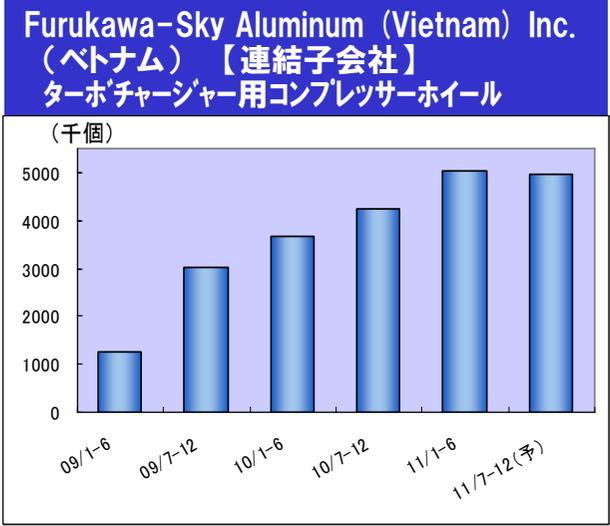


実施、進捗の状況(主な事業戦略)





海外事業拠点の状況 (売上数量の推移)





4. トピックス



東南アジア新工場建設について

1. 新工場建設の目的
2. 需要予測
3. 建設計画・事業概要

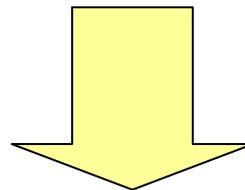


1. 新工場建設の目的

2012年中期経営計画

業容拡大に向けた事業基盤の強化と新たな飛躍への第一歩

- ◆ 国内・・・既存事業の構造改革推進と事業基盤の強化
- ◆ 海外・・・成長する海外市場への的確な対応
- ◆ 新規・・・成長製品、次世代製品への事業対応



東南アジア新工場建設

- 成長・拡大が著しいアジアのアルミニウム板圧延品市場の需要獲得
- 東南アジアにおける本格的な圧延工場建設によるグローバル対応力の強化・向上



グローバル市場への対応

拠点のグローバル化(板製品)

2007.2
AFSEL S.A.を設立(ギリシア) *エルバルとのJV

2009.3
Bridgnorth Aluminium Ltd.に資本参加(英国)

2010.1
乳源東陽光精箔有限公司に資本参加(中国)

2011.8
Tri-Arrows Aluminum Inc.に資本参加(米国)

2014
東南アジア新工場設立(泰国)

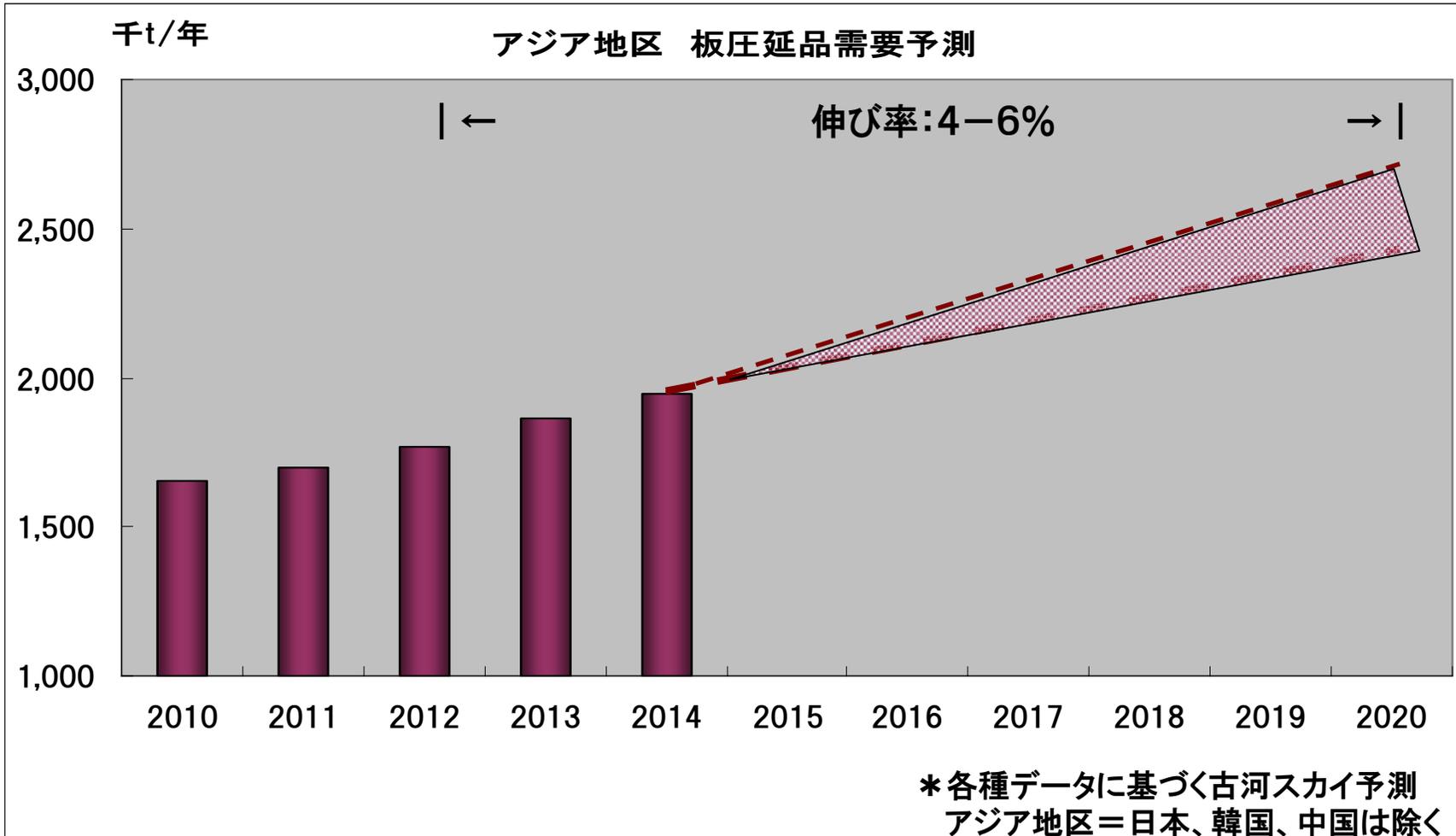
板製品のグローバル対応

	日本	成長地域				欧州	成長地域	
		中国	東南アジア	インド	中東		北米	南米
缶ボディ	福井	輸出	輸出	輸出	輸出		TAA	TAA
缶エンド	福井	新工場	新工場	新工場	新工場		TAA	TAA
自動車熱交材	深谷	乳源	新工場	新工場	新工場	エルバル		
PS板	深谷	乳源	輸出	輸出		BAL	BAL	BAL
箔	福井	乳源						
一般材(電気関係)	深谷	新工場	新工場	新工場	新工場			
厚板	深谷	輸出	輸出					

■ 今回の新拠点から対応
 ■ 日本の現有工場対応
 ■ 日本からの輸出対応
 ■ 現地生産による対応



2. 需要予測(アジア地区 板圧延品)



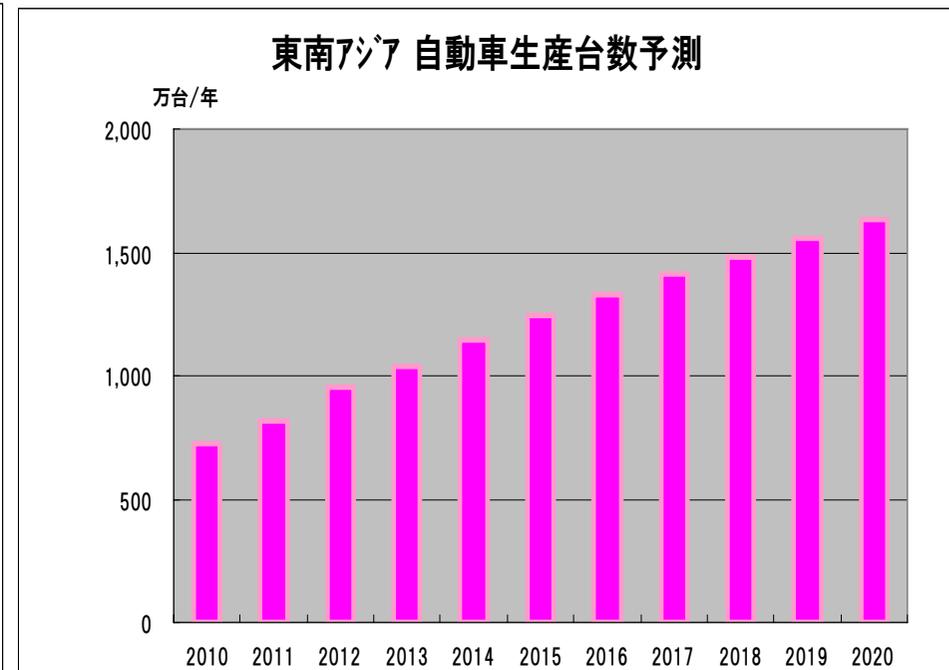
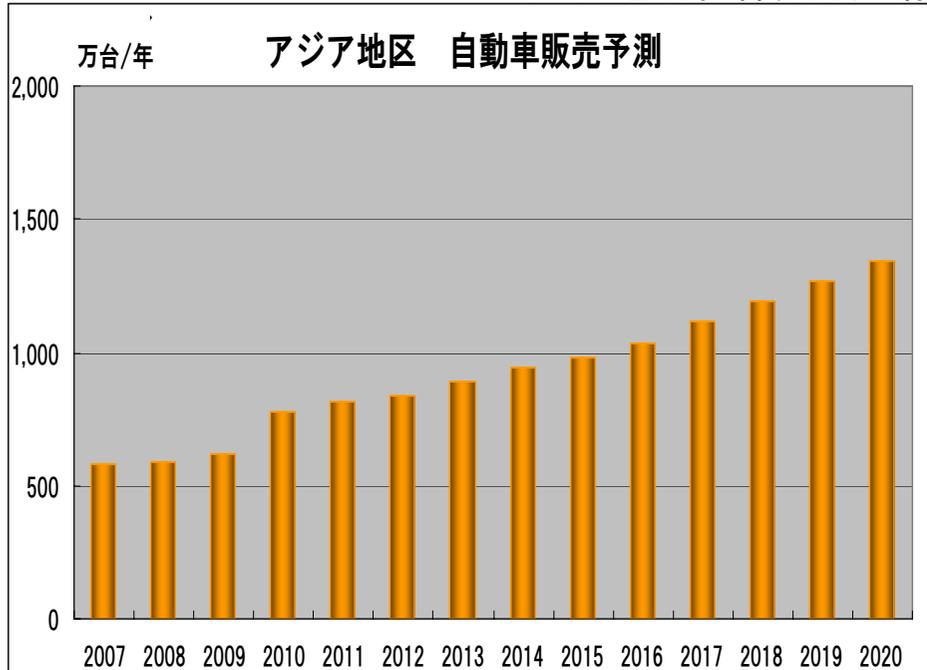
人口の増加、高い経済成長、国民所得の増加に伴い、需要拡大が見込まれる



製品戦略① ～自動車熱交材

*アジア地区：日本・中国・シンガポール除く

*各種データに基づく古河スカイ予測



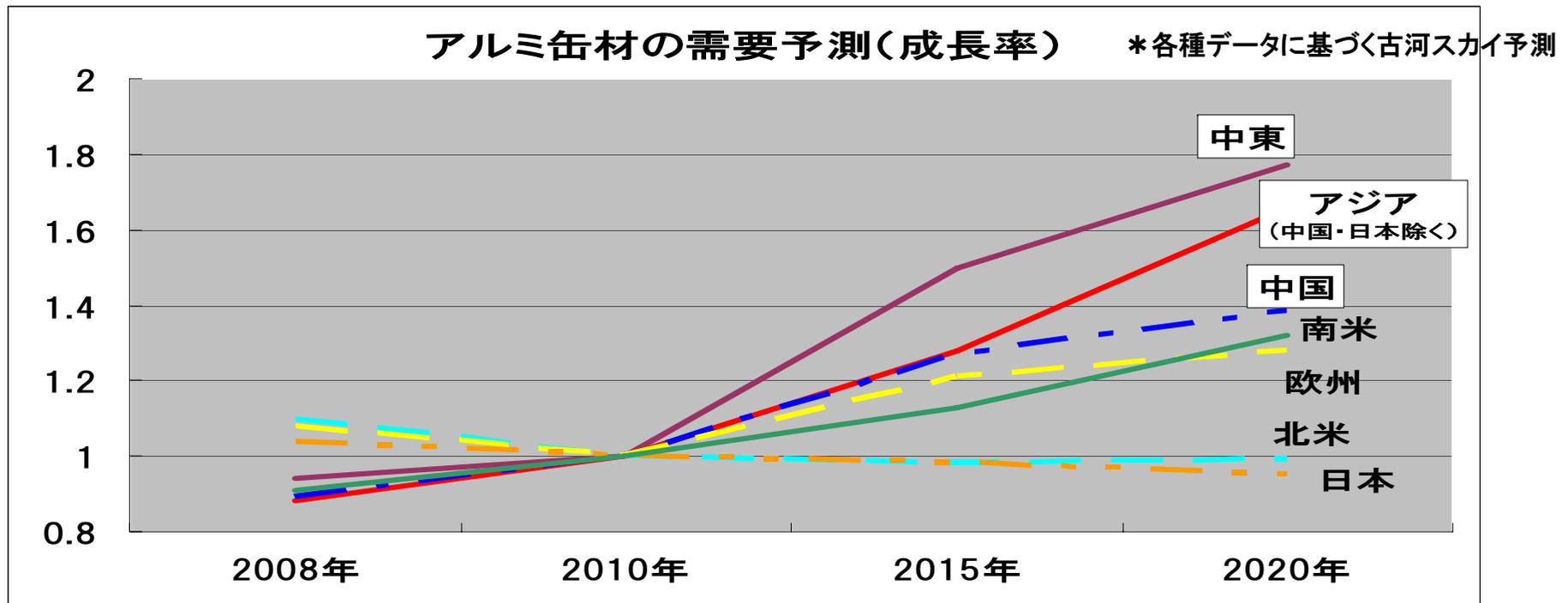
- タイ(東洋のデトロイト)・インドを中心に自動車産業の投資が加速、今後、高い成長が予想される。
- 自動車生産のグローバル化、それに伴う現地調達化ニーズの高まり。



- 当社は、グローバルサプライヤーとして、押出(FIA)のチューブと合わせたトータルソリューションの提供を目指します



製品戦略② ～缶材



- 当該地域での人口の増加、経済成長・所得増加による大幅な需要増を予測。
- 缶エンド材は、高い技術力が必要で供給者が限定的。顧客の供給要請が強い。

- 当社は、米国TAAにも資本参加をするグローバルサプライヤーとして、高い技術力を活かし、東南アジアでの現地生産により顧客ニーズに対応致します

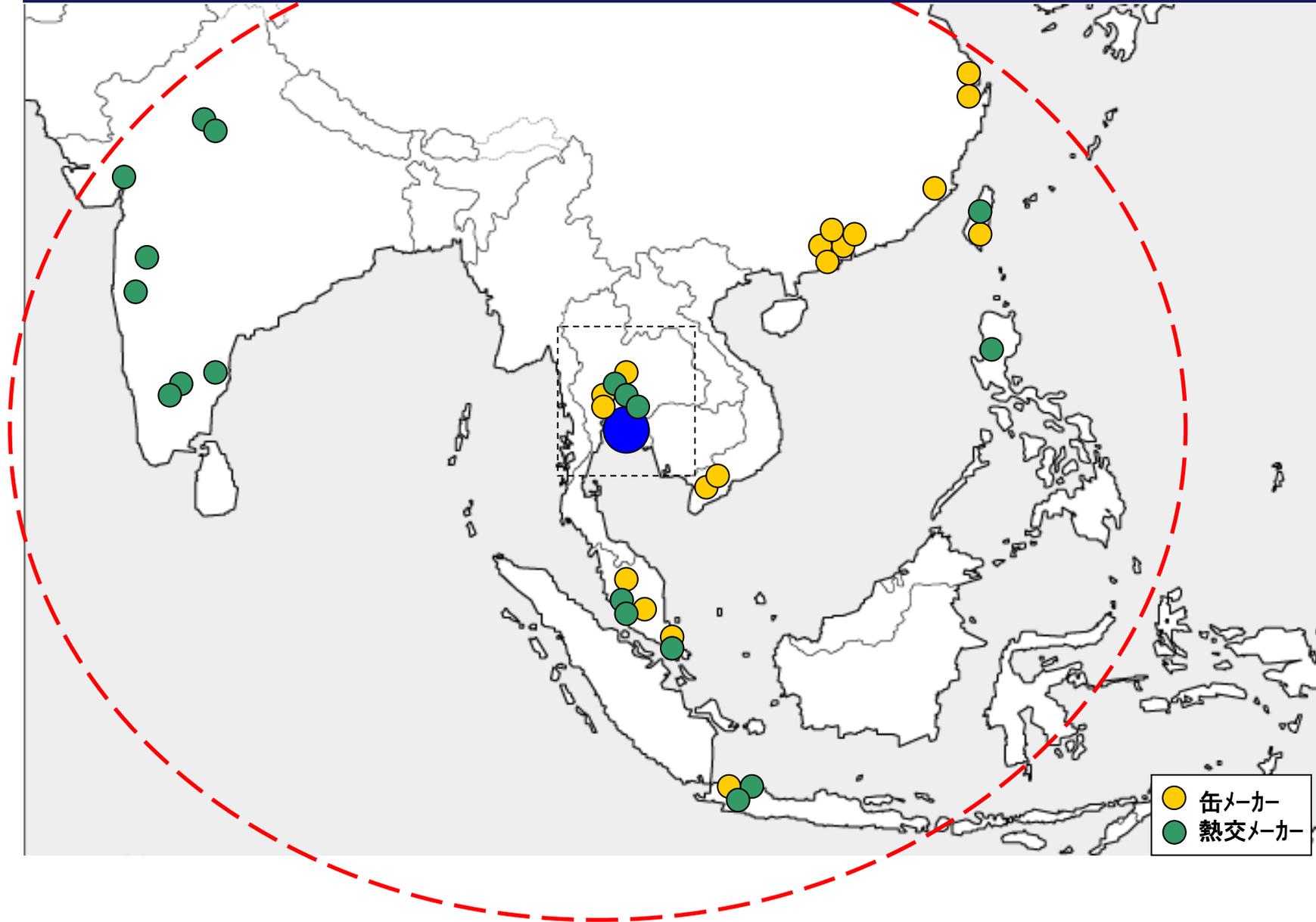


3. 建設計画・事業概要

建設場所 土地面積	タイ王国 ラヨン県 アマタシティ工業団地内 約35ha
工場建設費	約130億円(第一期)
生産能力	6万トン／年 (第一期) ※第二期で拡張を計画
事業内容	アルミニウム板製品の製造・販売 缶材、自動車熱交材、その他電気部品用一般材など
設備概要	冷間圧延機(日光工場からの移設予定) 塗装設備、スリッター、及び附帯設備
スケジュール	建設開始－2012年3月予定 (第一期) 操業開始－2014年1月予定 (第一期)

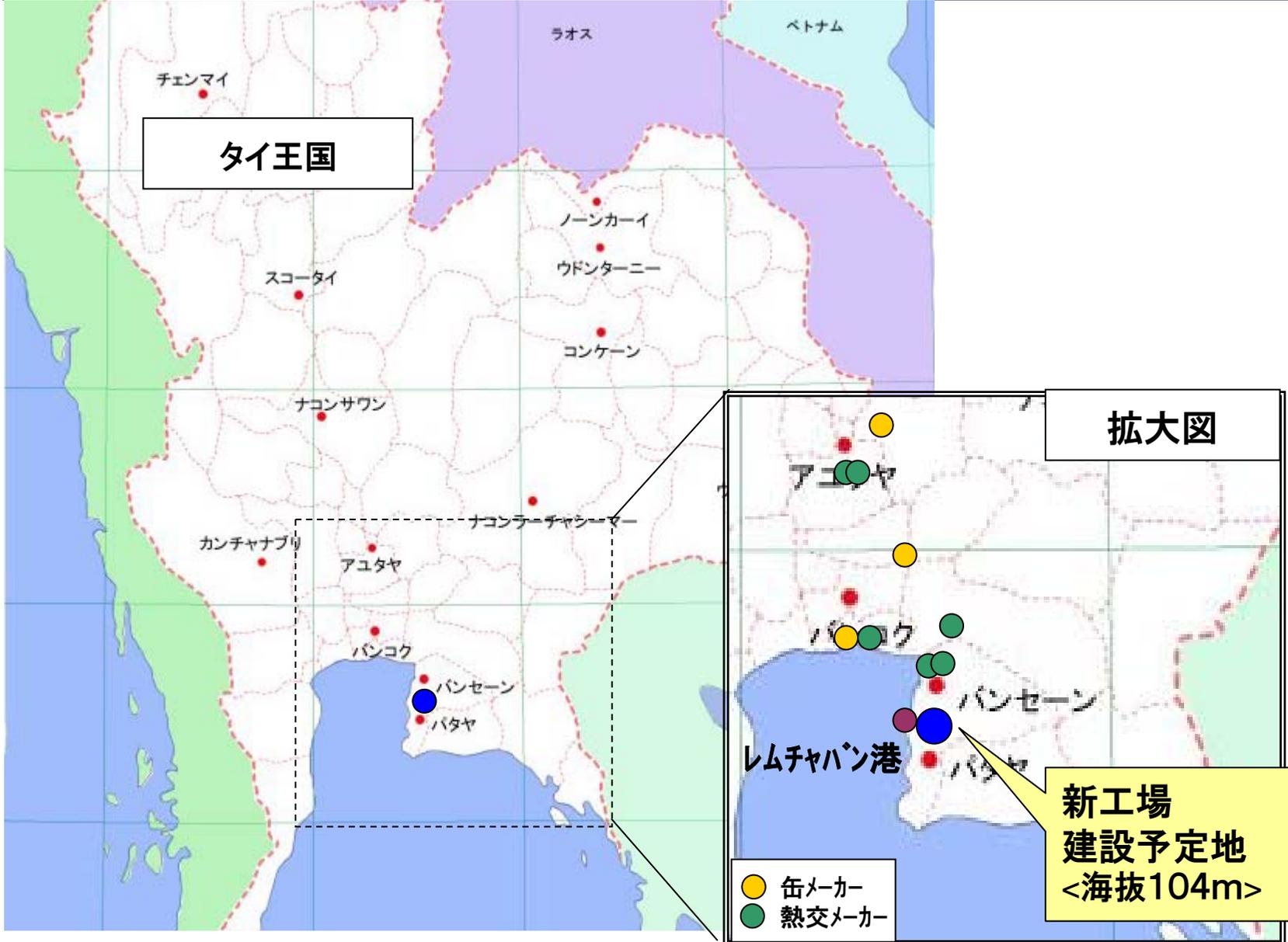


ロケーション <東アジアにおける>





ロケーション <タイ国内における>



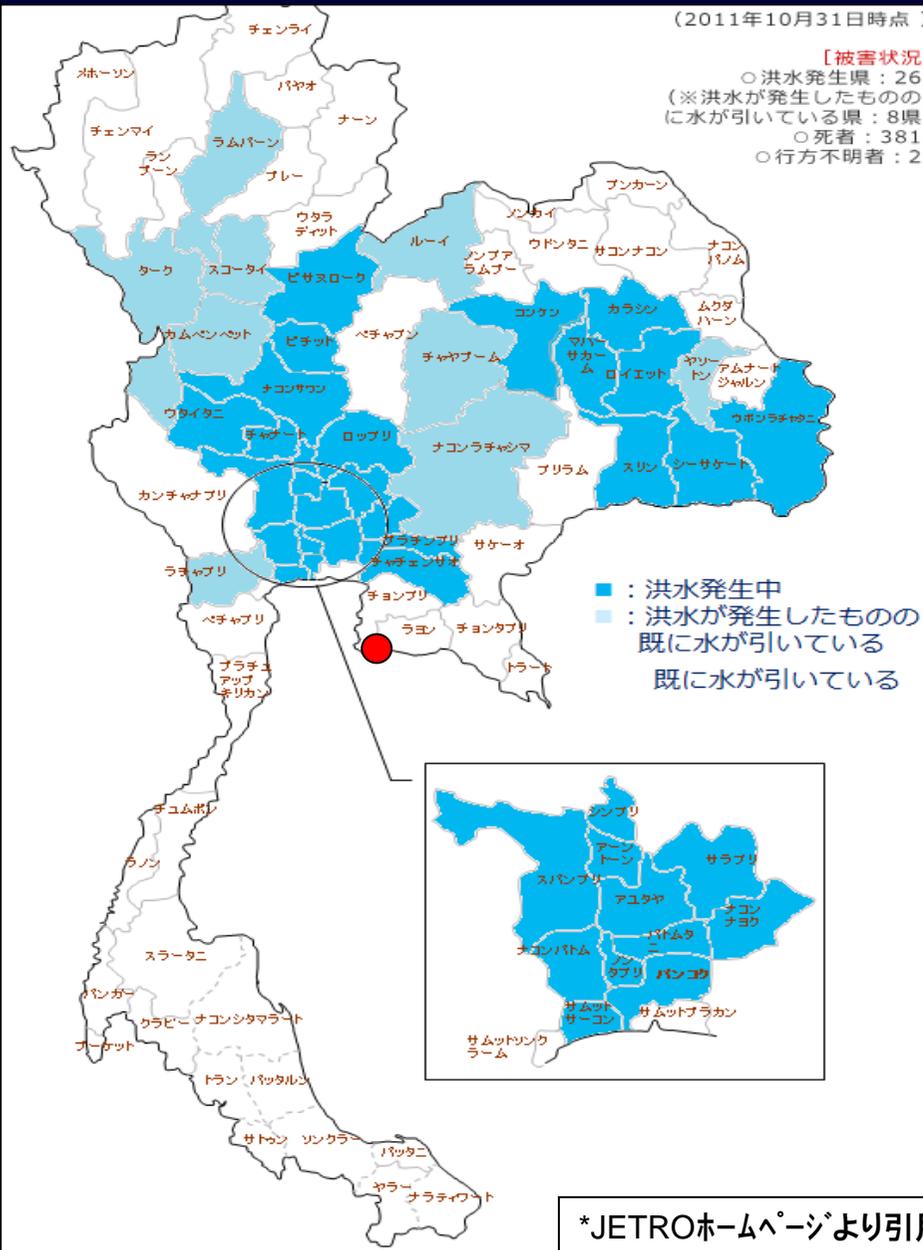


タイの洪水地域について

(2011年10月31日時点)

【被害状況】

- 洪水発生県：26県
- (※洪水が発生したものの既に水が引いている県：8県)
- 死者：381人
- 行方不明者：2人



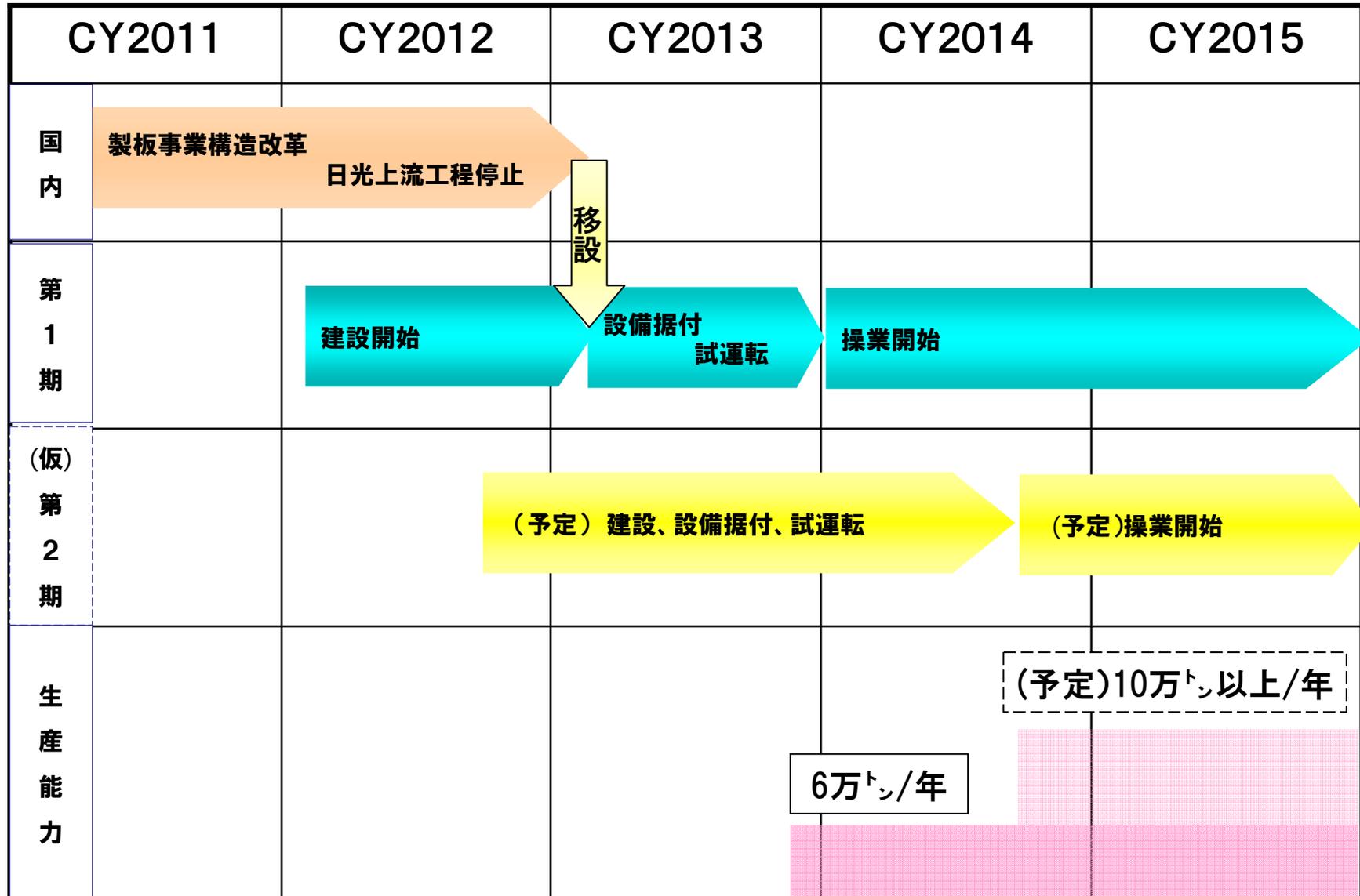
*JETROホームページより引用

タイの河川地図





スケジュール





■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3800 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>
(東証1部 コード番号:5741)